

TSUNAGU



令和4年度 大森放課後子ども教室「うりぼうクラス」
お散歩で摘んだヨモギのお団子とお抹茶でお花見♪花より団子の子どもたち

～「社会に開かれた教育課程の実現」に向けて～

地域学校協働活動において市教委より各小・中学校に委嘱された地域学校協働推進員（大田市は「専任コーディネーター」と呼びます）は、学校と地域の連携・協働の推進にあたって、両者を繋ぐ（TSUNAGU）重要な役割を果たしています。

ここでは、各中学校区の社会教育推進センター7館（元ブロック公民館）内に所属する、専任コーディネーター7名の活動を紹介いたします。



Chuou Block

久屋小学校専任コーディネーター **まつばら ひさや 松原 久也さん**



子どもたちと関わることが出来ることに感謝です。子どもたちのキラキラした目を見ていると無意識のうちに笑顔になっています。この子どもたちが未来に向かって羽ばたいたとき、突然襲ってくる不安に自然豊かな中で育った自分を思い出して、声をかけてもらった人たちの顔や建物などを思い出して振り返ってもらえる、そんな心のよりどころになる学校と地域であると良いと思っています。



学校行事
「全校徒歩遠足」

Toubu Block

朝波小学校専任コーディネーター **たなか なつき 田中 菜月さん**



2年生生活科「カニ探し」

普段は子どもたちと関わりのない方たちが、ひとりでも多く子どもたちと交流するきっかけになるよう声掛けをしてきました。初めは「自分で大丈夫だろうか?」「何をすればいいんだろうか?」というお声が多いのですが、活動から帰ってこられると「楽しかったよ」「元気をもらったよ」「自分の勉強にもなったよ」とみなさん笑顔で話してくださいます。

Seibu Block

静間小学校専任コーディネーター **たけした てるお 竹下 輝男さん**



最初は学校の行事の提案に、地域の中で適任者を探しお願いに行くこともありました。今では、コロナ対応で新たに行事を増やすこともないと感じています。児童の皆さんには、地域の方に接し地域の魅力、地域の方の思いやりや励ましを感じ取ってほしいです。地域では児童の皆さんから元気もらっています。児童の皆さん、頑張れ!大人になった時、学校での体験を思い出してもらえることで



十分です。郷里を思うことには変わりないです。やがて、郷里で活躍する人になってもらえれば最高!です。

5年生社会科
「稲作体験」

Yunotsu Block

温泉津小学校専任コーディネーター **わたなべ あきら 渡邊 白さん**



温泉津小学校の地域の体験学習の中で、海や川に入りキャーキャー言いながら喜んでいる姿を見ていると、時代は変わっても、昔も今も子どもたちの本質は変わらないと感じます。楽しかった体験学習の思い出は、郷土愛を育むことにも繋がっていきます。保護者の方とは違った目線で子どもたちと接し、子どもたちが自由な発想で学べるように、サポートしていきたいと思っています。



3年生
総合的な学習の時間
「福光川探検」

Nima Block

仁摩小学校専任コーディネーター **おがわ まりこ 小川 真理子さん**



私は、仁摩小の専任コーディネーターとして活動をしています。活動内容としては、学校と地域をつなぐ役割だと思っています。学校行事等で地域ボランティアの方が必要な時に、いろいろな方を紹介しています。また、毎月のことですが、仁摩の小・中学校の子どもたちの下校時刻表を見守り活動をしていただいている方に送付しています。これも大切な仕事の一つだと思っています。



1・2年生特別活動
「交通安全教室」

Sanbe Block

池田小学校専任コーディネーター **むらた ありさと 村田 有郷さん**



クラブ活動「絵手紙クラブ」

当初は専任CNとして、地域の方からボランティアとしてどう協力が得られるかが一番の心配でした。ところが、学校の学習意図を話して協力依頼したところ、心よく快諾していただきました。特に、絵手紙学習、3B体操、米づくり体験等は、70才、80才の高齢者の方々と児童と楽しく交わりながら指導して頂いています。皆様方の生きがいにもなっているかな?協力を感謝です。

Takayama Block

第三中学校専任コーディネーター **たかつ しんご 高津 眞悟さん**



活動で大切にしていることがあります。それは「誰もが笑顔になる事業」。今年度やってみたのは、地域のグループに作っていただいた「苔玉」を乗せる「お皿」を第三中の窯芸活動の中で制作していただき、そしてそれを地域の高齢者にプレゼントするという活動です。多くの方のご協力のおかげで、地域と学校が繋がる、作る人、渡す人、もらう人すべてが笑顔になる活動となりました。



総合的な学習の時間「窯芸活動(受け皿作り)」



水上地域交流活動(苔玉作りと地域配布)



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動

コミュニティ・スクール（CS）とは、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って、学校運営に参画する仕組みである「学校運営協議会」を設置した学校のことを言います。大田市は令和4年度に全ての小・中学校にこの「学校運営協議会」が設置されました。

大田市としては、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体化推進により、「社会に開かれた教育課程」の実現のために地域と共にある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進め、未来を担う子どもたちの成長を地域全体で支える社会の実現を目指しています。

コミュニティ・スクール

学校運営協議会

☆めざす子ども像や目標、課題を共有
☆課題解決のための具体的な手立てを協議

【両者一体化】
専任コーディネーター

地域学校協働活動

合議体から実働体へ

5中学校区に各本部を設置
各本部でネットワーク会の開催

実働体から合議体へ

地域・学校協働（多様な協力活動）

家庭教育支援

放課後子ども教室

土曜チャレンジ



地域・学校両者 Win-Winの望ましい姿を追求

コミュニティ・スクール研修会



家庭教育支援（親学講座）



多様な協力活動（校外学習付き添い）



結集！しまねの子育て協働プロジェクト

発行：令和5年3月 大田市教育部社会教育課 TEL 0854-82-1600(代)

TSUNAGU